

J B N会員各位

「地盤保証」法人-日本地盤協会-ご紹介

JBNでは、一般社団法人 日本地盤協会と地盤保証に関する業務提携を開始いたしました。 地盤保証をはじめ、地盤調査・地盤対策といった業務をJBN会員様向けに利便性を高めた プログラムになっております。

今回の日本地盤協会との提携によりまして、新たにご採用されましたJBN会員様に多くのメリットがあるかと考えております。

一般社団法人 日本地盤協会は、地盤事業を運営する会社を社団員として設立され、やはり 地盤事業に関連する会社を主たる会員※2017年6月末時点全国67社※で組織されています。 地元で工務店様と密接なつながりを持つ地盤会社を受付窓口とし、工務店様からは直接地 盤保証の申し込みをお受けせず、協会会員である地盤会社に"住宅地盤の安心を創出する" 地盤保証を提供しております

地盤調査+地盤保証セットでの上限価格 60,500円(税込)

上記価格は個別に差異がある場合もあり、お近くの日本地盤協会登録地盤会社にお問い合わせを下さい。なお、JBN会員が既にお取り引きをされている地盤会社様に申し込みをすることもできますが、その場合は事前に日本地盤協会へご相談をいただけますでしょうか。

ぜひこの機会に地盤保証会社のご検討をお考えいただけましたなら幸いです。

以上

■お申込みの流れ

- 1. 専用申込書で地盤会社へ申し込む。
- 2. 地盤会社と基礎仕様打ち合わせ。
- 3. 地盤会社から調査+保証の請求 4. 地盤会社へ支払い。
- 5. 保証書自動発行。

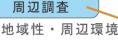


重要

地盤業務のプロ組織が守る!

■地盤業務の流れ 工務店・建売業者・売建業者様 建物構造設計 基礎設計 地盤調査 地盤解析 対策工事要/不要 要 地盤設計 対策サポート 対策工事 対策工事 支持力・沈下量の担保 地盤保証 地盤保 調査 お施主様サポート 沈下修正工事

本来「地盤調査」は、現場へ出向き[周辺調査] [現況調査][地耐力調査]を行うことをいいます



現況調査

敷地調査 建物配置 盛土・切土 擁壁

地耐力測定

SWS試験

表面波探査法

ボーリング試験

平板載荷試験

責任のある判定と保証

地耐力調査]には上記のような方法があり、そのどれもがサンプリング抽出調査で、その数字から解析がなされています。解析により、問題が無いと判断された場合には対策は実施せず、問題が在りと判断された場合には地盤改良・対策工事が行われ、どちらも不同沈下が発生しないという保証、発生した際に補償を行うという地盤保証書が発行されます。

そこでの判定は、実際に現場へ出向き「地盤調査」を行った 地盤業者が責任を持って行い、「地盤保証書」を発行すること が本来の形ではないでしょうか。

発生しないという保証・発生した際の補償

「保証」は不同沈下が発生しないようつけられるべきもので、 「補償」が付くから、不同沈下が発生しても良いというもの ではありません。

事故が発生しないように地盤調査(解析)を的確に実施し、必要であるなら対策工事を行いましょう。

そして、万が一「不同沈下」が起こってしまいましたら、「地盤保証」は左図のように、[調査][お施主様サポート][沈下修正工事][賠償対応]を履行しなければなりません。

そのような対応に際しましても、現地の責任ある地盤業者として、協会登録会員と一般社団法人 日本地盤協会は職務を全うしてまいります。

●お問い合わせ先 Japan Geo Society



賠償対応

〒110-0016

東京都台東区台東3-7-8第7江波戸ビル203 TEL. 03-5817-8487 FAX. 03-5817-8497 http://www.jibank.jp/

登録No.NJ00				協会会員名:						申込日 20		月	日
地:	盤保	証申	込		あり		なし	保証期間※		10年		20年	
保	証	会	社		一般社団法。	人日本	地盤協会	地盤保証に関するお 問い合わせ先		03-5	817-848	37	
								※…保証期間の	り指定のな	い場合は20年	保証とさt	せていただきる	ます。

				JBN会員専用地盤調査 / 地盤保証申込書									
住	宅:	会	社 名	プリカナ 連携団体名									
				T ジリガナ									
住			月	所									
連		絡	#	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
				≪申込みに必要な敷地等の情報≫									
				フリガナ									
現	場		名	称 横									
現	場		住 克	〒 フリガナ									
-	般 入	条	件	敷地内への車両の自走進入 (□ 可 □ 不可) 敷地に面する道路幅 (m) (□ 2t □ 4t)以上の通行不可 道路規制 (□ 有 □ 無) スロープ [□ 無(間口 m) □ 有] 階段 (□ 有 □ 無) □ その他(
	高さ	障	害	□ 無 □ 有 [□ 電線 □ トンネル □ 敷地内高低差 □ その他(
調	查希	<u> </u>	星日	年 月 日~ 月 日(: 頃) お立会 ロ 有(ロ だ担当者 ロ お施主様									
各	久 孓	÷	臣日	(契約) 年 月 日 (着工) 年 月 日									
	יו ים	Æ		(竣工) 年 月 日									
予定 および				 □ 木造 □ 鉄骨造 □ その他(□ 木造 □ 市基礎(ベースW = m) □ ベタ基礎 □ 計画根切深度(m) □ 積雪量(最大 m) □ 凍結深度(cm) 									
		luh i	生出	□ 官公庁造成 □ 民間造成(造成後 ヶ月) □ 切土									
造成情 _和		, U	造成	□ 盛土(m) □ 不明									
	拯	隹	壁	現状[口 無 口 有 高さ(m)] 予定[口 無 口 有 高さ(m)] ※擁壁の高さが2m超等工作物確認や開発許可が必要な場合は、擁壁の図面・ 構造計算書・検査済証写しの添付をお願いいたします。									
	=+;	L 4		□ 無 □ 有[予定盛土厚さ(cm) □ その他造成計画()]									
	盛 -	盛土計		※調査結果により、造成後の再調査が必要と判定されることがあります。									
	既 存	建	物	□ 無 □ 有 (有の場合、既存建物位置を配置図に記載願います) ※調査ポイントが十分に取れない場合、解体後の再調査が必要となることがあります。									
	敷 地	現	況	□ 田畑 □ 水田 □ 駐車場 井戸[□ 無 □ 有 (有の場合、配置図に記載願います)] 浄化槽その他埋設物 [現状(□ 無 □ 有) 予定(□ 無 □ 有)]									
敷	: 地 σ)育		□ 宅地 □ 畑・田畑 □ 植樹畑 □ 雑木林 □ 駐車場 □ 干拓地 □ 工場跡 □ その他(
	添 付	図	面	□ 現地案内図 □ 配置図 ※配置図に敷地境界等からの距離を明示願います。 □ 平面図 □ 立面図 (□ 矩計図 □ 基礎伏図) ※傾斜地・崖地の場合は平面図・立面図が必須です。 □ 擁壁 (□ 図面 □ 構造計算書 □ 確認通知書 □ 検査済証 □ 設計者見解書)									
(7		連絡	\$ 絡事項〕										